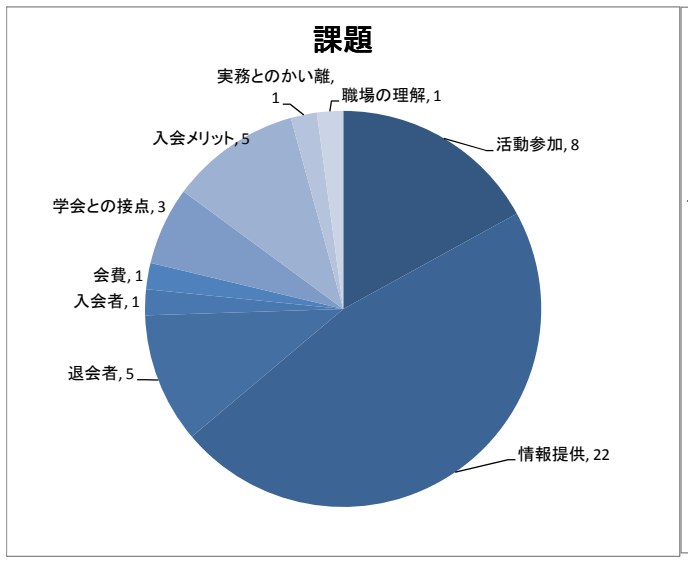
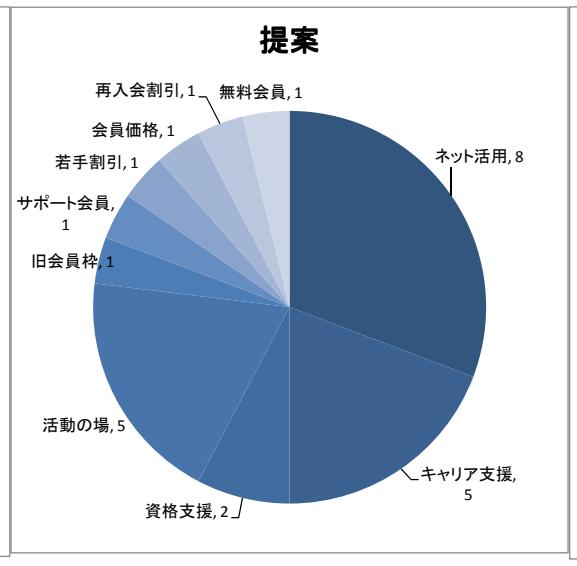
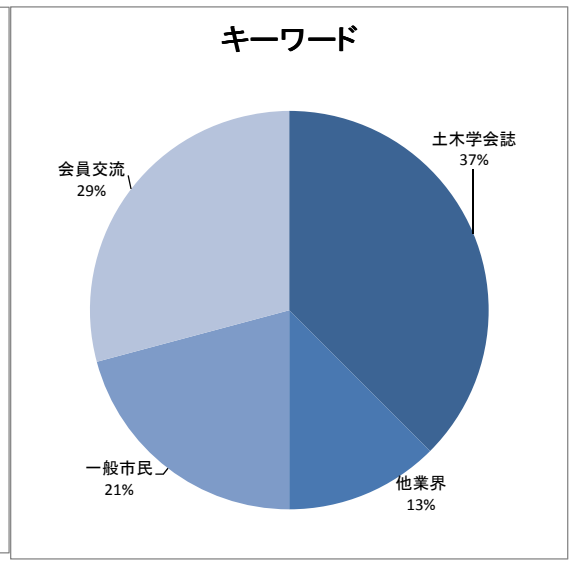
Q2:「本部・支部のイベントに参加できない会員や，就職を機に退会する人に対して，土木学会が与えられるメリットは？」

No	投稿者	職種	年代	課題	提案	キーワード	タイトル	内容
1	入社7年目（鹿島建設）	建設業	7年目	活動参加	まとめ作成	土木学会誌		イベントに参加できない会員に対して、イベントの内容の要約版を土木学会誌の序盤のページに載せるなど、短時間で要点だけ把握できるコンテンツがほしいです。
				情報提供	まとめ作成	土木学会誌		土木学会誌自身も、仕事が繁忙時期には目を通せないので、トピック・要点だけでも1ページにまとまっているページがあってもいいと思います。
				退会者	旧会員枠			就職を機に退会する人に対しては、イベント参加時に「旧会員」という枠をつくって、何かメリットをつけることができるかもしれません（例えば、イベント参加費が割り引かれるなど）。
2	28歳 建設業	建設業	28歳	情報提供	ネット活用			本部・支部のイベントに参加できない会員に対しては、それらの内容をFACEBOOKに投稿したり、動画配信したりすることによって、学会がより身近な存在だと感じられる場を提供
				学会との接点				就職を機に退会する人のほとんどは、土木系以外の会社に就職し、今後、土木との関わりはないものと考えている。
						他業界		一方で、昨今の土木業界には、インフラの維持管理をはじめ、他業種（電機や食品など）の企業が勢力的に参入・研究開発を実施している。
						会員交流		また、土木工事ひとつとっても、発注者や金融機関とのお金の流れなどは、いまいちよくわからないし、興味深いものだと思う。
				情報提供	イベント			以上のように、土木と他業種との関わりについて、土木学会誌やセミナーなどでわかりやすく（面白く）紹介していくことによって、土木学会や土木を魅力的で身近な学会だと感じさせることができるのではないか？
3	nk			学会との接点		全国大会		自分も本部や支部のイベントにほとんど参加せず，関わるのは全国大会のみです。
				学会との接点		土木学会誌		そうなると普段，土木学会と触れ合うのは学会誌のみになります。
				情報提供		土木学会誌		この学会誌の内容は文章がとても硬く，非常に読みづらく感じています。
				情報提供		土木学会誌		毎回，学会誌の内容を読破している会員はまわりにはほとんどおりません。逆に日経コンストラクションなどは読みやすいせいか，よく読まれています。
				情報提供		土木学会誌		学会誌が読みやすくなれば，それを手に取る会員が増え，土木学会から発信される情報がより伝わりやすくなり，会員のメリットも増え，ひいては就職を機に退会する人も減るのではと考えます。
4	鹿島	建設業		退会者				「就職を機に退会する人」とは、言い換えると「業務上、土木学会の発信する情報が不要である、あるいはその情報に興味がない人」ということだと思う。
				情報提供		一般市民		こういった人たちが興味を持つ情報を発信することが必要で、それは即ち、土木関係ではない一般の方たちも興味を持ち身近に感じる「土木」を発信・提供することに繋がると思う。
				情報提供		一般市民		一般の方が土木に触れ、興味を持つ情報や機会を提供する場を増やし、次に、その場において、一般の方に対して会員・元会員にメリットを付与する、というステップで考えてはど
5	土木屋11年目		11年目			一般市民		土木技術者自身が土木学会からの情報に魅力を感じない一方で、一般の方が大人の社会見学として土木に関心を持ってくださるのは嬉しいですよね。
					イベント			子持ちとしては、子連れ見学会を増やしてほしいです。安全に関する懸念もあると思いますが、土木の英才教育を是非！
6	土木屋11年目		11年目	情報提供		土木学会誌		私は、土木学会誌は知り合いが載っている時だけ読んでいます。その点で100周年の様々な方からの一言コメントは良かったですよね。（コメント者の所属先が限定されてはいまし
				情報提供	ネット活用			学会誌だけでなく、ネット環境を活用して裾野を広く気軽に情報交換できる場があるといいと思います。
7	kjm08			活動参加	ネット活用			イベントに参加できない会員に対しては、インターネットによるライブ配信をしたらどうか。
8	土木屋			入会メリット				私も会社からの要請がなければ、学会に再入会していなかったと思う。
				実務とのかい離				言い換えれば、日々の業務と学会活動(学会誌)とは依然として距離があると感じる。
				情報提供	ネット活用			学会が日経コンストラクション的になる訳にもいかないと思うので、インターネットを活用して土木を世に広める活動を行っていただきたい。
				情報提供		一般市民		土木が世間に浸透することで、土木学会員として土木のコアにいるものにとっても旨味が増すと思う。
				情報提供		土木学会誌		他方、久しぶりに学会誌に目を通してみると、懐かしい顔ぶれが投稿などしていて、昔なじみの方の活躍は励みになる 。
10	土木屋39年目		39年目	情報提供	ネット活用			講演・様々な情報などをインターネット配信
				情報提供	ネット活用	会員交流		HP上の「なんでも相談室」の整備・充実
					キャリア支援			学生向けロールモデルの提示
					活動の場			NPOなど地域に根差した団体への支援など、学会がやるべきことを拡充していけば、学生会員や土木OBにもメリットが実感できるのではないか。
11	建設業10年目	建設業	10年目	入会メリット	資格支援			技術士やコンクリート技士などの資格に関する講義のweb配信などがあれば、イベントなどに参加できない会員でもメリットを感じられるのでは。（その分、講義をする人へのインセンティブが必要ではある）
				入会者	キャリア支援	他業界		最近は土木系学科を卒業しても、他業界に就職する学生さんが多い。
				退会者	サポート会員	他業界		他業界に移る人は学会費を半額にして「サポート会員」のような立場にするなどして継続してもらい、異業種交流で人脈や知識の幅を広げられるような試みがあれば良いと思う 。
12	ンサルタント21年	コンサルタント	21年目			論文投稿		以前は、いつでも論文を投稿できるように、また、海外滞在が長かったこともあって、学会誌などを通じて日本の土木界の情報入手を目的として、学会員を続けていました。
						会員交流		しかし、委員会活動などに参加するようになった今は、産官学の専門が異なる分野の方々と交流でき、視野を広げることができることこそ、土木学会のメリットではないかと考えてい
				活動参加				ただし、現状では、こういった機会が会員全てに与えられている訳ではないと感じています 。
13	藤田　俊英			情報提供				現在はメリットと云うより土木学会は本部・支部のイベントに参加できない会員や，就職を機に退会する人に情報発信する手段を持ってません、よね。
14	k			情報提供				土木の最新技術を伝えること。これまでの技術、成果を伝えること。
15	ゼネコン40代	建設業	40代	活動参加				土木学会の会員が積極的に活動することで、積極的に活動できない会員や、もともと会員だった土木技術者も、土木という分野の有用性や社会への貢献度合いを間接的に知ることができる（といいなと思います。）
				入会メリット				土木学会で活動する会員がそれぞれ会員であることを誇りに思って活動できていれば、おのずと周囲に認められ、間接的なメリットも増えてくるのではないかな、と思います。
16	島建設 森口智聡	建設業						土木学会に求めるものは、人それぞれ異なると思います。
				活動参加				イベントへ参加し技術者同士の交流の場として活用する方も多いと思いますが、学生や若手にとっては営業活動や交流は自分の現状の業務に直接に影響しないため、費用や時間を掛けてイベントに参加したいという人は少ないと思います。
				活動参加				そのため、業務を抜けてイベントに参加するという環境も整ってない状況かと思います。
				活動参加				もちろん、若いうちからそういう意識の高い人はイベントにも積極的に参加すれば良いと思いますが、大半の若手にとっては、会費が高い割に直接的なメリットを感じることが少なく、またとっつきにくい印象が大きいのではないかと思います。
					キャリア支援			学生の就職活動に対し、土木学会としての立場から各業種を公平に分析し、情報提供する場を設ける。就活担当者を選任し各学校を訪問する、大規模セミナーを開催する等。
					キャリア支援			その際に、今後の土木学会の組織の活用の仕方等もアドバイスする。困った時に相談できる部署を土木学会に設置する。
						一般市民		土木離れを防ぐため、イメージアップ広報を行う。女性技術者の幅広い採用。
				若手会員	若手割引			若手会員の会費を安くし、まずは会員を増やすことに重点を置く。
				会費				現状、直接的なメリットに対し会費が割高で、会費ありき的なイメージが先行し入会に二の足を踏む。
				入会メリット				会員になる価値を見いだせれば、年次が上がり会費が上がっても退会しないかと思います。
					活動の場			土木学会の組織に若手部門を作り、若手のみの活動の場も作る。
					活動の場			運営側も若手が担当し、土木学会を 身近にする。
					活動の場	会員交流		支部ごとの若手会の開催。
				職場の理解	活動の場	会員交流		参加費負担を軽減し、社用として参加できる環境を作る。
				入会メリット		会員交流		営業というより、官民学から幹事を募り交流の場が作れれば、参加した若手も価値を見いだせる。
					資格支援			資格試験対策等、直近に役に立つ情報を提供する。
					会員価格			書籍、講義（サテライト含む）等を土木学会会員価格（会費を別に払っているため）で購入できるようにする。
					ネット活用			合格者の声や、質問、対策等を記載できるページを開設する。
					ネット活用	会員交流		技術を調べることができるデータベースを整理し、キーワード（工法、発注者、施工者等）で簡単に検索できるシステムを構築する。
17	建設業1年目	建設業	1年目	活動参加				学会等に参加できない方にとってはただ年会費を納入するだけになってしまっていると感じます。
				情報提供		土木学会誌		参加できない方のためにも学会誌を充実させる必要があると思います。
				情報提供	技術紹介			例えば、各社や大学が現在取り組んでいることを紹介できる範囲内で紹介することや研究論文を多数掲載すること、部門別に講座等を学会誌を通して行う等の工夫が必要であ
18	大学研究員二年目(29歳)	大学	2年目					まず，学会員であったことがある人は，学会の存在，大まかな活動内容を知っているので，″土木学会で何か知識が得られるかも″という機会に出くわした時に，土木学会の入り口に再度戻れるというメリットがあると思います.
				情報提供				よって，土木学会はその存在，活動などをHP, facebookなどで紹介し続けることで，″知識を得たくなったら帰っておいで″という安心感を元会員に提供できていると思います.
				情報提供		学会HP		学会のプログラム，論文のタイトル一覧などはweb上で閲覧できますし，必要があれば再度入会することも容易いと思います.
19	20代ゼネコン	建設業	20代	情報提供		facebook		①本部・支部に参加できない会員：facebookで気軽に活動を知ることができる。
				退会者	再入会割引			②退会する会員へ：現段階ではメリットが思い浮かばない。そこで、再加入する場合に会員登録費を割引できるようにしてはどうかと思う。
20	建設コンサル32歳	コンサル	32歳		キャリア支援			近年、プロポーザルではCPD要件が追加されることが多くなってきました。そのため、講演会等を録画して後日会員専用ページで閲覧するとCPD登録ができるなど、Webラーニング等の充実してほしいです。
21	ゼネコン5年目	建設業	5年目	退会者	無料会員			退会者をつなぎとめるいう意味では、無料会員は一つの方法ではないかと思います。
								学会から与えるサービスは、通常の有料会員と差をつけるなどの対応が必要かと思いますが

課題	
活動参加	8
情報提供	22
退会者	5
入会者	1
会費	1
学会との接点	3
入会メリット	5
実務とのかい離	1
職場の理解	1

提案	
ネット活用	8
キャリア支援	5
資格支援	2
活動の場	5
旧会員枠	1
サポート会員	1
若手割引	1
会員価格	1
再入会割引	1
無料会員	1

キーワード	
土木学会誌	9
他業界	3
一般市民	5